

9月～10月上旬の農作業

秋～冬にかけての品目確保と来年の生産にむけて準備をしましょう！

種まき	定植	栽培のポイント
<ul style="list-style-type: none"> ・ハウレンソウ ・コマツナ ・シュンギク ・ダイコン ・タマネギ ・ネギ ・野沢菜 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハクサイ ・ブロッコリー ・タアサイ ・チンゲンサイ ・ニンニク ・イチゴ 	<p>【ベタがけ資材の利用】</p> <p>アブラナ科野菜などの定植は、残暑が厳しい強光下では育てにくく、チョウ目害虫による被害にあいやすく失敗しがちです。これらの害から野菜を守るのに、ベタがけ資材を利用する生産者が増えています。</p> <p>一般的なベタがけ資材として「寒冷紗」があります。これは通気性があって雨を通しますが、遮光効果もあります。また、害虫の飛来を防ぎ、農薬の使用量を減らすことができます。</p> <p>特に今年は、コナガなど厄介なチョウ目害虫の発生量が多い傾向にあります（県病害虫防除所の情報）。少しでも農薬の使用量を減らすため、利用してみたいはいかがでしょうか？</p>
など	<p>収穫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハウレンソウ ・ブロッコリー ・カボチャ ・リーフレタス ・ピーマン ・キュウリ ・トマト 	



ベタがけ資材のトンネル

地域の話題 ～ネギの葉先の枯れ込み～

「ネギの葉先が黄白色に枯れ込んでいる。心配だ！」との声が寄せられています。確かに枯れ込みは目立ちますが、生育量が確保されているほ場では少ない印象でした。

生育不良のほ場を調査してわかったこと ⇒①土壌の酸度矯正が不十分、②追肥が不十分、③降水量が少ない の3点でした。ネギ類は石灰欠乏により葉先が枯れ込む場合があり、加えてかん水と追肥により植物体内の水分状態と栄養状態を良好に保たないと、枯れ込み具合が大きくなります。特に今年は干ばつ傾向で、植物体内の水分状態が悪く、石灰成分の移動抑制に拍車がかかったと推測されます。元来ネギ類は、古い葉身が枯れ、新しく分けつした葉身が育っていくことを繰り返すので、植物体中央部の新しい葉身が青々していれば枯死することはないので心配ありません。しかし、商品価値の高いものを生産するためには、酸度矯正、追肥、かん水等基本的な技術を普段から励行するようにしましょう！



新葉は青々している

平成 29 年度水稲刈り始め予測日

※平成29年8月28日現在の予測日（普及センター）

今後の天候状況やほ場条件により異なってきます。あくまで目安として捉えてください。

コシヒカリ		標 高		
		500m	600m	700m
出穂日	8/1	9/7	9/8	9/10
	8/5	9/12	9/13	9/15
	8/10	9/19	9/20	9/22
	8/15	9/26	9/28	9/29
	8/20	10/3	10/5	10/7

あきたこまち		標 高	
		700m	800m
出穂日	7/25	8/30	8/31
	8/1	9/7	9/8
	8/5	9/12	9/13
	8/10	9/19	9/20
	8/15	9/26	9/28

農作業安全チェック！ ～ コンバイン作業 ～

コンバインを取り扱う時期になりました。大きな農業機械を頻繁に稼働させるため、農作業安全上そこに潜む落とし穴に注意しなければなりません。農林水産省では「コンバイン事故4つの特徴」を分析していますので、確認していただき、事故防止に努めましょう！ [図・写真 農林水産省資料より]

コンバイン事故4つの特徴

- 1 移動・走行時の事故（34.7%）
背景・原因⇒後退時の確認不足
確認・改善⇒補助者による誘導、合図の確認
- 2 作業中の詰まり除去時の事故（20.4%）
背景・原因⇒エンジンを止めずに詰まり除去
確認・改善⇒エンジン停止の徹底
- 3 点検・整備中の事故（16.8%）
背景・原因⇒回転部への注油、詰まり除去
確認・改善⇒作業手順の順守
- 4 手こぎ作業の際の事故（14.3%）
背景・原因⇒衣服がチェーンに引っかかり・・・
確認・改善⇒作業に適した服装の徹底

< 実際の事故事例 >

- ★ コンバインがほ場から農道にバックで出ようとしたとき、横転！
運転手は寸前で飛び降りてケガはなかった。

原因と改善点

コンバインは死角が多く、後方はほとんど確認できないため、ほ場への進入退出路が車幅に対して余裕がない場合等は、補助者による誘導や確認を行う事が大事！また、傾斜がきつい場合は危険を感じない程度に緩くするなど、環境を整備することが大事！



- ★ 手こぎの最中、袖口がチェーンに巻き込まれ複雑骨折。

原因と改善点

高速回転している脱穀部に稲わらを投入する手こぎ作業は非常に危険！巻き込まれやすい服装は厳禁。袖口はピシッと！手に密着した手袋を使用するなどの工夫を！



あさつゆ連絡先

電話番号：0268-41-1062

FAX：0268-41-1063

技術事項作成協力

上田農業改良普及センター（木曽）

電話番号：0268-25-7156（直通） FAX：0268-23-2161